

ご使用にあたって

本製品をお使いいただく前にお手元のアルフレックス製品ユーザーズガイドをお読みください。

ユーザーズガイドをお持ちでない場合や、ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

ガラス棚板について

△警告 ガラス棚板はユニットに固定していません。掃除や置き物を移動する際は、必ず棚板に手を添えてください。棚板の落下によるけがや破損の原因になることがあります。

ドロワー（引出し）について

△警告 同時に複数の引出しを引き出さないで下さい。
収納物の重さで製品が転倒し、けがや破損の原因になることがあります。

ボックスの移設について

△注意 引出し2段付きのセレクトابلボックスを移設する際は、ボックス底板に設置されておりますウェイトを必ず取り外してから行ってください。
ドアボックスH.1740タイプを移設する際は、上下分割になっておりますので水平に移動するか、分割してから行ってください。
また、ユーザーズガイド、インストラクションを必ずご確認ください、正しい方法で行ってください。

フラップドアについて

△注意 フラップドアは、既に調整がされており、そのままご使用いただけますが、不具合を発見された場合は、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

LED照明について

△注意 不具合を発見された場合は、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

株式会社 アルフレックス ジャパン

カスタマーサービス ☎0120-33-1951

January 2009

C.C.09 INSTRUCTIONS

シー・シー・09 組み立て説明書

arflex

CONTENTS

シー・シー・09 組み立て説明書 目次

組み立て前にご確認ください	p. 1
各部の名称	p. 2
水平の取り方(アジャスター調整)	p. 4
ドアの調整と取り外し・取り付け	p. 5
ガラス棚板の設置 棚板の位置変更・取り付け	p. 9
オプションガラスシェルフの設置と組み立て方	p.11
W,1000 H,1740 ドアボックス 上下分解	p.12
メッシュバスケットの取り外し	p.13
オープンボックスの設置・調整	p.14
引出しの取り外し・取り付け・調整	p.16
ウェイト(おもり)の設置	p.20

組み立て前にご確認ください

⚠注意

- 製品にキズをつける恐れがありますので、必ず腕時計や指輪等は外して作業を行ってください。

必ず下記の付属工具とパーツがそろっているか、確認してください。

(1) 付属工具の確認



- 六角レンチ(4mm)
(W,1000 H,1740 ドアボックス 1セットにつき1本)



- プラスドライバー
(1セットにつき1本)

(2) 付属パーツの確認

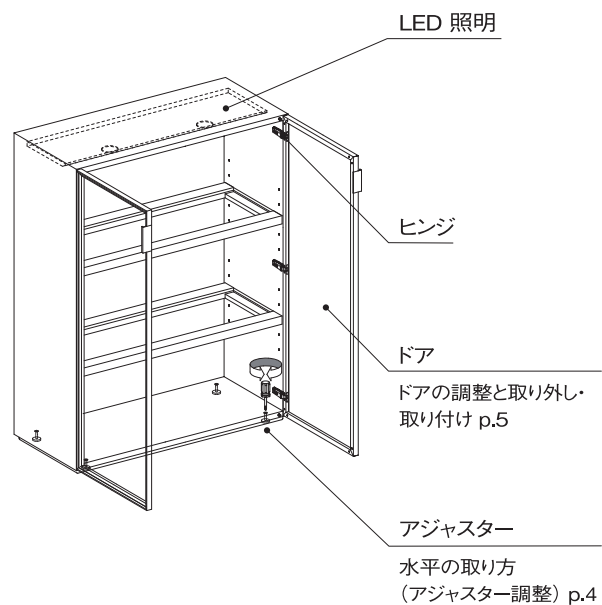


- アジャスター穴キャップ
(1ボックスにつき、4個)

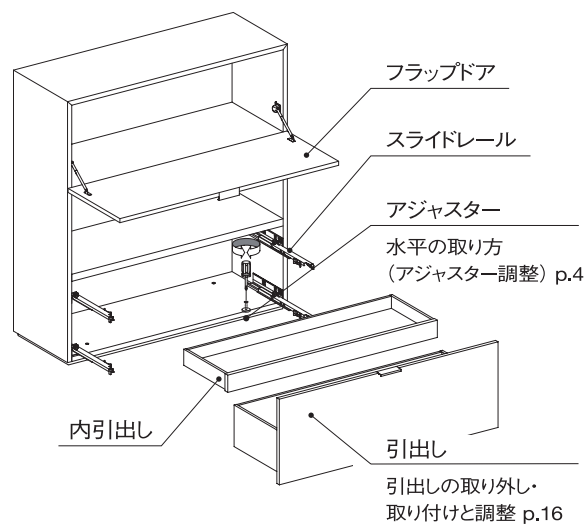


- ボルト
(OPEN BOX 1台につき3本)

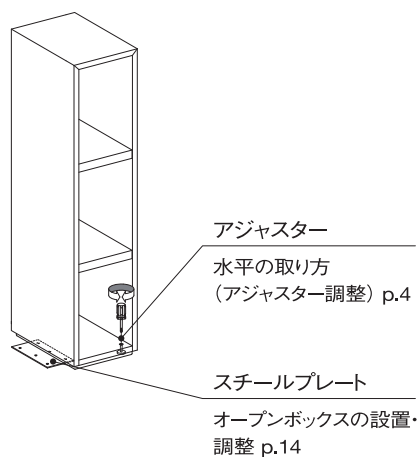
DOOR BOX



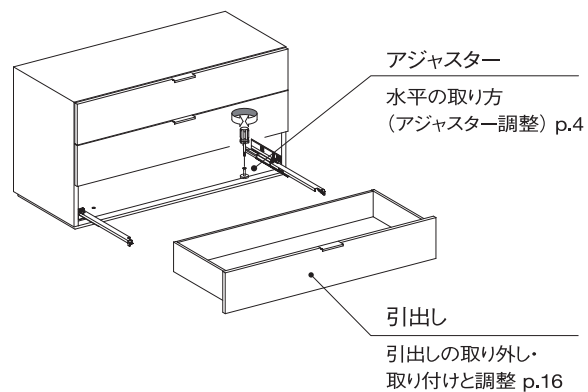
SELECTABLE BOX



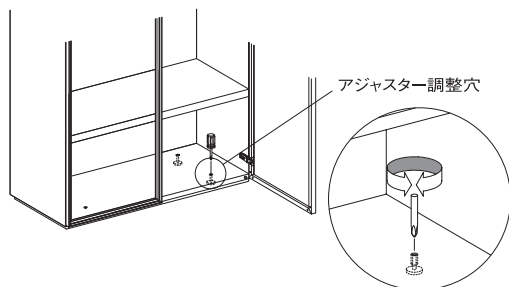
OPEN BOX



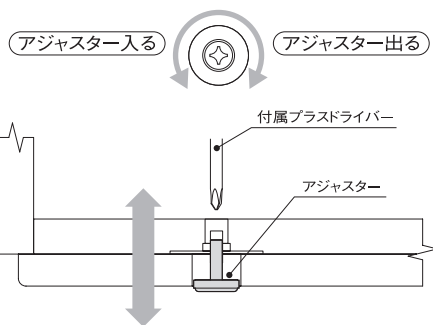
DRAWER BOX



水平の取り方 (アジャスター調整)



1. ボックスのアジャスターを全ていっぱいまで引き込みます。
(付属ドライバーにて反時計まわり)
2. 床とボックスとのすきまを確認します。
3. アジャスターを出して、水平調整をします。



4. ボックスが一番傾いている場所のアジャスターから順番にアジャスターをまわして、調整してください。
5. すべての脚 (アジャスター) が接地していることを確認します。
6. 最後にアジャスター穴キャップをセットして完了です。



△注意

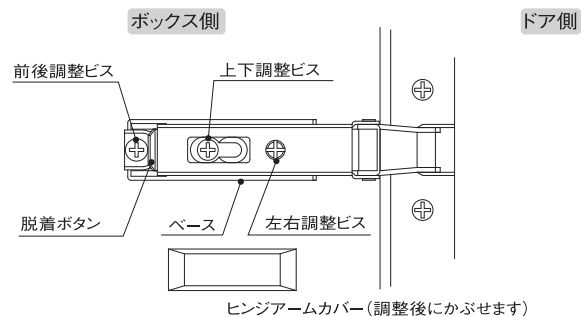
- 引出しボックスの場合は、引出しを取り外してから行ってください。
(p.16 [引出しの取り外し・取り付け・調整] 参照)
- 接地面が、毛足の長いカーペット等の場合は、重量によりアジャスターが沈み込みますので、アジャスターは多めに出して調整してください。
- 床の凹凸がはげしいときは、水平器を使用してください。
- アジャスターを出し過ぎると、ボックスから外れてしまいますのでご注意ください。

ドアの調整と取り外し・取り付け

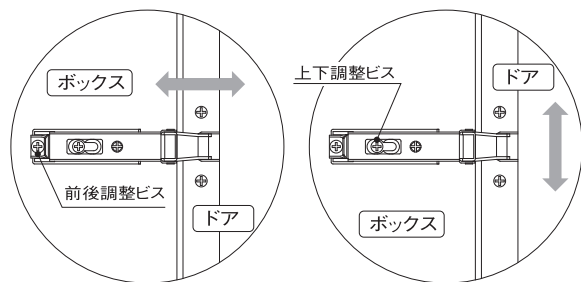
△注意

- 水平調整ができていない場合ボックスがねじれて、正しくドアの調整できません。(p.4 [水平の取り方 (アジャスター調整)] 参照)
- ドアのねじれ、反りにつながりますので、ドアのヒンジ調整は確実に行ってください。

(1) ヒンジ

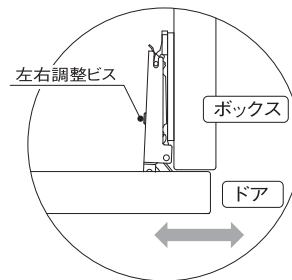


(2) ヒンジの機能



● ドアが前後します。

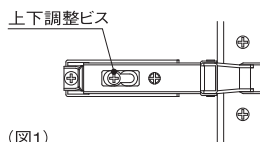
● ドアが上下します。



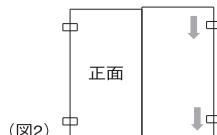
● ドアが左右に動きます。

(3) ヒンジ調整例

〈ドアの上下がずれている場合〉



(図1)



(図2)

1. 上がってしまっているドアのヒンジを確認してください。

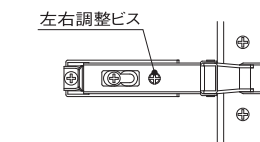
2. ヒンジの上下調整ビス(図1)を回します。

3. ビスを回すとドアを上げ下げすることができます。

※ヒンジが片側2つ以上ある場合は、上下のどちらかから、平均に少しずつ調整ネジを回してください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈ドアが傾いている場合〉



(図1)



(図2)

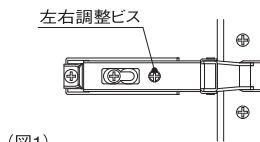
1. 傾いてしまっているドアのヒンジを確認してください。

2. 左右調整ビス(図1)を回しての矢印の方向にドアを調整します。(図2)

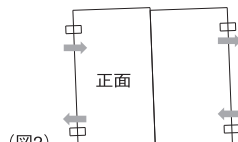
3. 再度全体を確認して、必要であれば上のヒンジも同じように調整してください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈両方のドアが傾いている場合〉



(図1)



(図2)

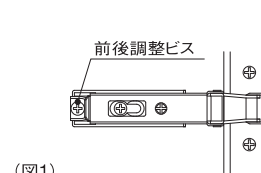
1. 左側ドアヒンジの左右調整ビス(図1)を回し、(図2)の矢印の方向に調整します。

2. 右側のドアも、左のドアを基準に上下のヒンジを調整してください。

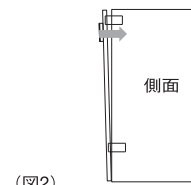
3. 両ドアの調整後、全体を確認し、中心にすき間が大きく開いてしまった場合、再度左右調整ビスで、ドアを均等に中心に向けて調整してください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈ドアが前に飛び出している場合〉



(図1)



(図2)

1. ヒンジの前後調整ビス(図1)を回し、ドアを(図2)の矢印の方向へ押し込んでください。

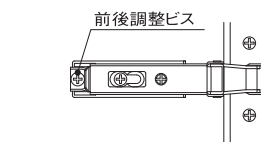
2. 最適な位置で前後調整ビスを確実に締め込んでください。

(ボックスとドアのすき間は、1～2mmくらいが最適です。)

3. 位置決め後、再度全体をチェックして、必要であれば、下のヒンジについても同じ調整を行ってください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈ドアがきっちり閉まらない場合〉



(図1)

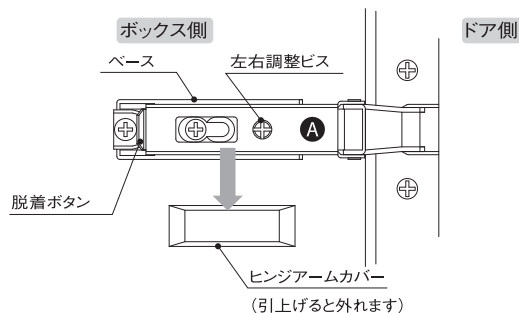


(図2)

1. ヒンジの前後調整ビス(図1)をゆるめ、ドア側面をみて、ボックスとドアのすき間を調整します。

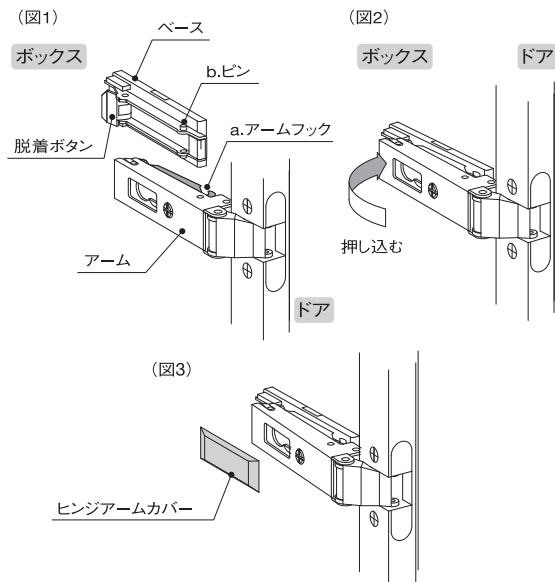
(4) ドアの取り外し

ドアはヒンジごとに取り外します。



1. ヒンジアームカバーを外します。
2. ドアを支え、脱着ボタンを押しながら、図のA部分を押し込むとヒンジのロックが外れ、ドアが取り外せます。
3. うまく外せない場合は、左右調整ビスをいっぱいまで閉め込んでから再度脱着ボタンを押してください。

(5) ドアの取り付け



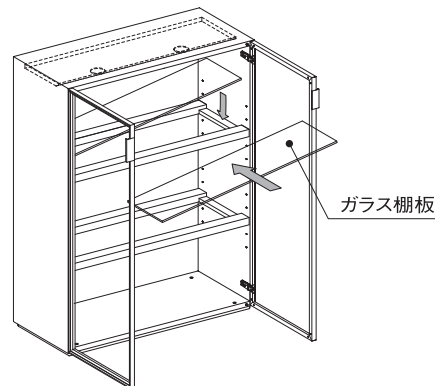
1. アームのフックaをベースのピンbにかけます。(図1)
2. アームの端をカチッと音がするまで押し込みます。(図2)
3. 取り付け後、ドアの調整を行ってください。
(p.5[ドアの調整と取り外し・取り付け]参照)
4. 最後にアームカバーを取り付けます。(図3)

ガラス棚板の設置

△注意

● ガラスドア内側は、飛散防止フィルム貼りになっております。棚板と接触させて、フィルムを破損しないようお気をつけください。

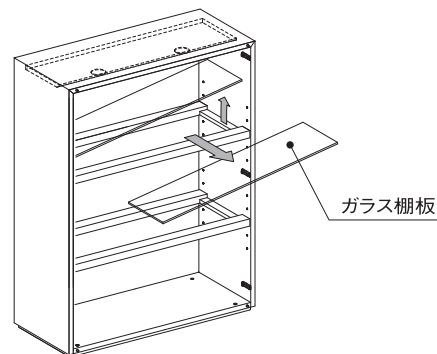
1. ドアをいっばいに開いてください。
2. ドアの内側にガラス棚板を当てないように注意し、やや斜めに傾けながら、箱内に棚板を入れてください。



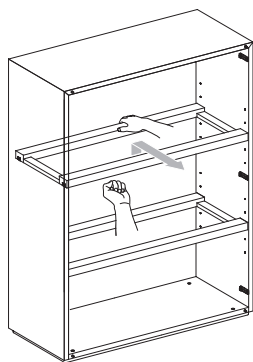
3. 棚板の端をガラス受けに載せてゆっくり下ろしてください。
4. ガラスがガラス受けに正しく載っているか確認して完了です。

棚板の位置変更・取り付け

1. ドアにキズを付けてしまう恐れがあるため、予めドアを外しておきます。
(p.5[ドアの調整と取り外し・取り付け]参照)
2. ボックス内側にガラス棚板を当てないように注意し、やや斜めに傾けながら、取り出してください。

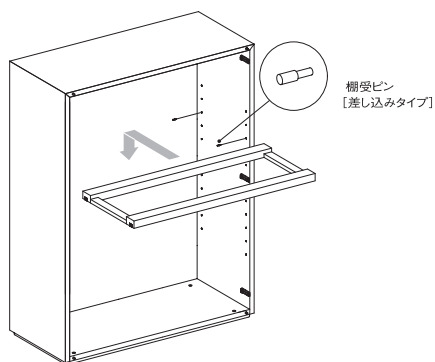


- 棚板奥側の左右2カ所にあるジョイント部を1カ所ずつ解除します。
このとき棚板が跳ね上がらないよう、もう一方の手で棚板の奥側を支え、再び固定されないように、そのまま奥側を軽く持ち上げておきます。
- 次に手前側の左右2カ所のジョイント部を1カ所ずつ解除します。
- 全てのジョイント部を解除したら、棚板を傾けないよう注意しながら垂直に持ち上げ、手前に引き抜きます。



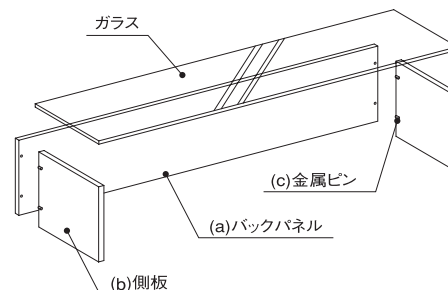
※ 下から叩く

- 棚板を取付けたい高さの下穴に、棚受ピン[差し込みタイプ]を差し込みます。
- 棚受ピンとジョイント部がかみ合うように、棚板を棚受ピンの上から図のように落とし込みます。
- 棚板の四隅で"カチッ"という手応えがあるまで上から押してください。



- 最後にガラス棚板の設置 (p.9[ガラス棚板の設置 棚板の位置変更・取り付け] 参照)、ドアの取り付け (p.5[ドアの調整と取り外し・取り付け] 参照)を行って下さい。
それぞれが正しく設置されているかを確認して完了です。

オプションガラスシェルフの設置と組み立て方



- 設置するボックスの棚の奥に(a)バックパネルを立てかけます。
(上下表裏のどちらでもご使用いただけます)
- (b)側板から出ている(c)金属ピンを、図のように(a)バックパネルの穴にさしこみます。(上下表裏どちらでもご使用いただけます。)
- ガラス板をのせて完成です。

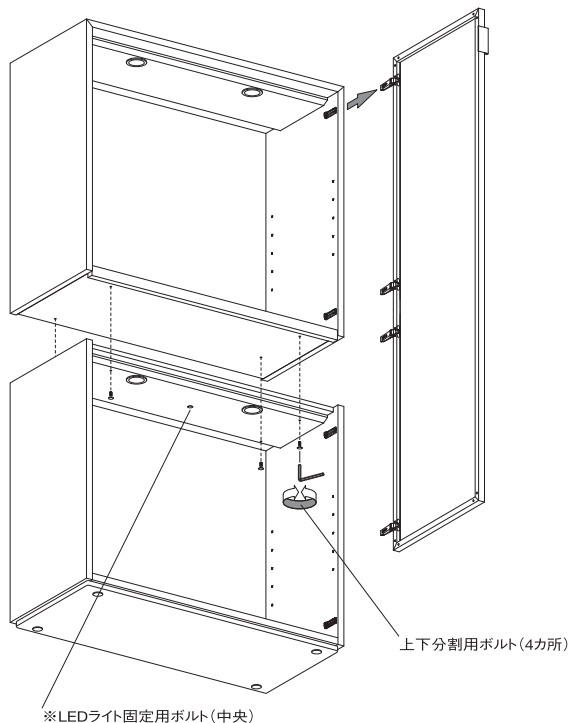
⚠警告

- 必ずボックス内でご使用ください。単体で使用されますと、棚が崩れて、けがや破損の原因になりますのでご注意ください。

W.1000 H.1740 ドアボックス 上下分解

W.1000 H.1740 ドアボックスは上下に分解する事ができます。

- 扉を取り外します。
(p.5 [ドアの調整と取り外し・取り付け] 参照)
- 棚板を取り外します。
(p.9 [棚板の位置変更・取り付け] 参照)



- 図のように4カ所のボルトを付属の六角レンチで外す事により上下に分解する事ができます。

※ 上下の組み立ては逆の手順で行ってください。

△注意

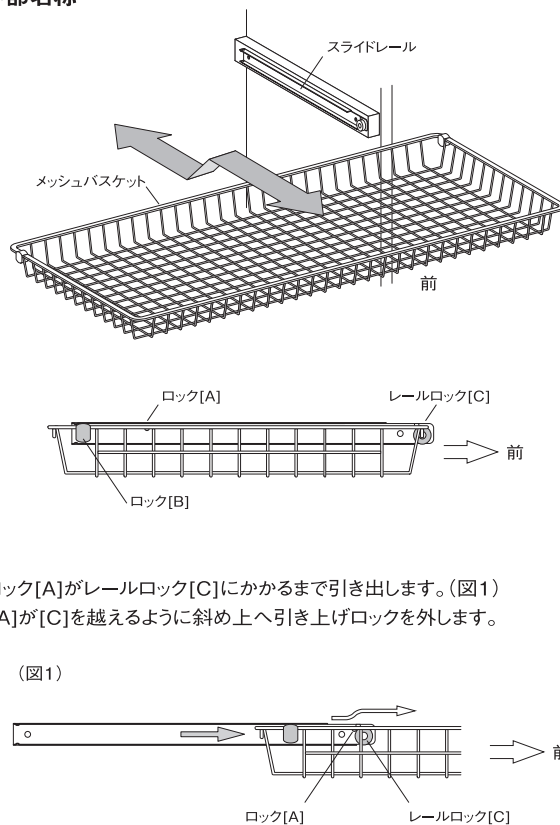
- 中央のボルトはLEDライトを固定しているボルトですので取り外さないようにしてください。

メッシュバスケットの取り外し

△警告

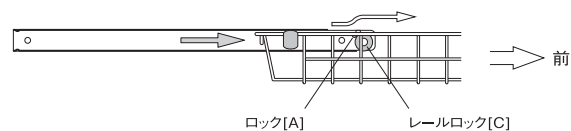
- 危険ですのでメッシュバスケットにもものを入れたまま、取り外しをしないで下さい。落下して、けがの原因となります。

各部名称



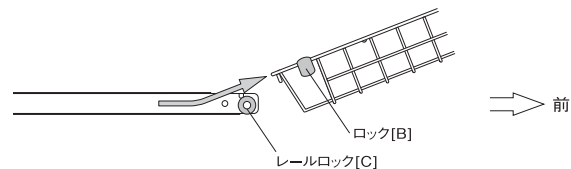
1. ロック[A]がレールロック[C]にかかるまで引き出します。(図1)
[A]が[C]を越えるように斜め上へ引き上げロックを外します。

(図1)



2. ロック [B] がレールロック [C] を越えるように斜め上に引き上げロックを外します。
メッシュバスケットを取り外します。(図2)

(図2)



※メッシュバスケットの取付けは逆の手順で行ってください。

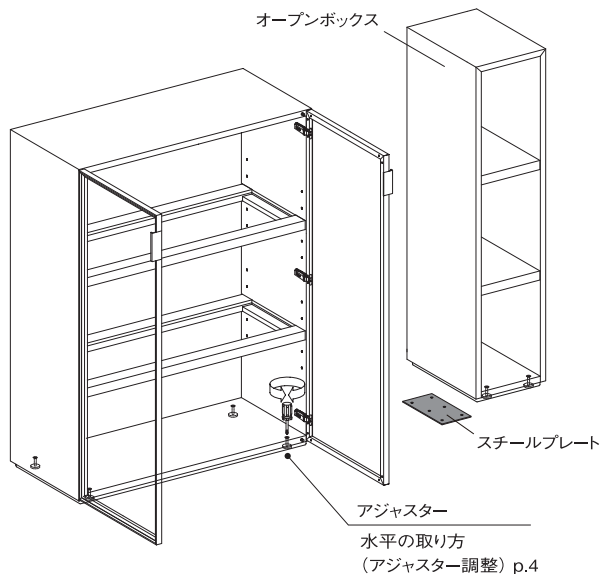
オープンボックスの設置・調整

⚠警告

●ワイドが狭いため製品が転倒し、けがや破損の原因になる事がありますので、オープンボックスは単独で使用できません。

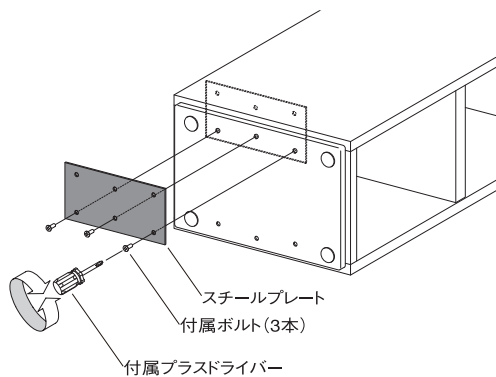
1. 予め、オープンボックスと並べるユニットを設置したい位置に置き、アジャスター調整を完了しておいてください。

(p.4[水平の取り方(アジャスター調整)]参照)

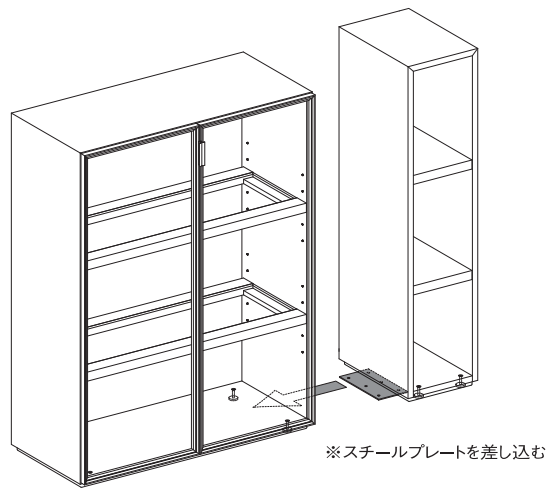


2. オープンボックスを横に寝かせます。

スチールプレートを、並べるユニット側に付属のボルトで固定します。

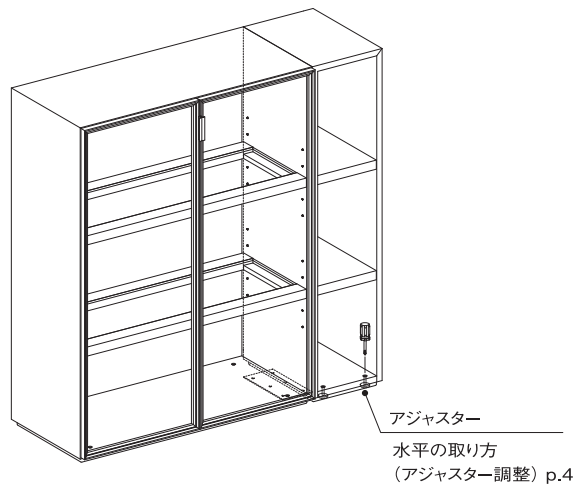


3. オープンボックスを横にスライドさせながらスチールプレートを差し込んで設置します。



4. 隣のユニットに合わせてオープンボックスのアジャスターを調整して完了です。

(p.4[水平の取り方(アジャスター調整)]参照)



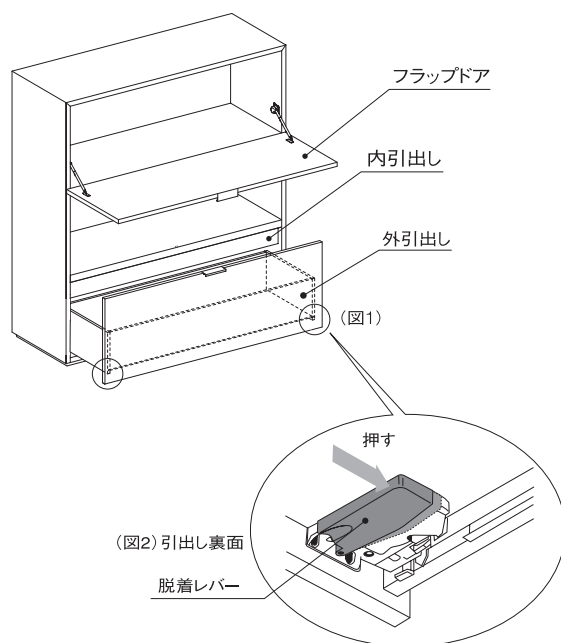
引出しの取り外し・取り付け・調整

(1) 引出しの取り外し

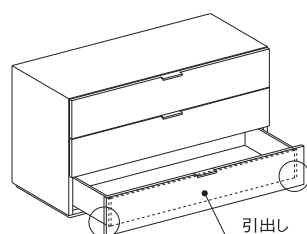
内引出しは、外引出しを外してから取り外してください。

1. 引出しの中身を出してください。
2. 引出しを手前いっぱいまで引き出します。(図1)
3. 引出しをささえながら、指先で引出し裏面オレンジ色の脱着レバーを握るとスライドレールと引出しのロックが外れます。(図2)

SELECTABLE BOX

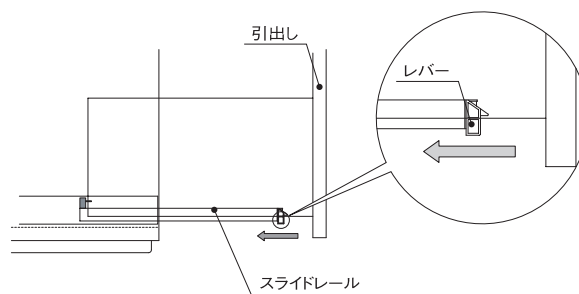


DRAWER BOX



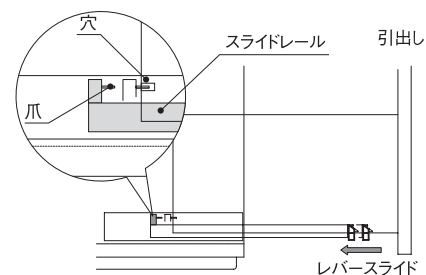
4. 引出し裏面の脱着レバーを握ったまま、図の位置にある白いレバーを矢印の方向にスライドさせます。(図3)

(図3) 引出し側面図



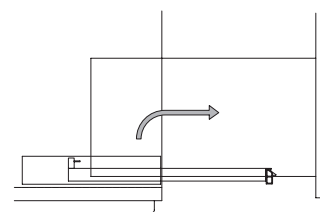
5. レバーを引くことで(図4)のように、引出し奥の爪が引出しから外れ、レールから引出しが外れます。
同じように引出し左右2カ所ロックを外してください。

(図4)



6. スライドレールと引出しのロックが外れましたら、矢印のように引出しを持ち上げながら引き抜きます。(図5)

(図5)



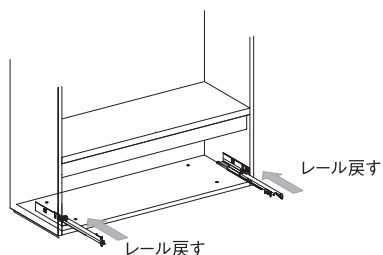
⚠警告

- 危険ですので引出しにものを入れたまま、引出しの取り外しをしないでください。
落下して、けがの原因となります。

(2) 引出しの取り付け

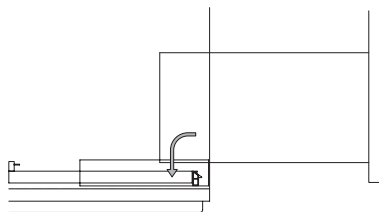
1. スライドレールをあらかじめしまっておきます。(図1)

(図1)



2. 引出しの取り外しと逆の手順でレールに引出しをのせます。(図2)

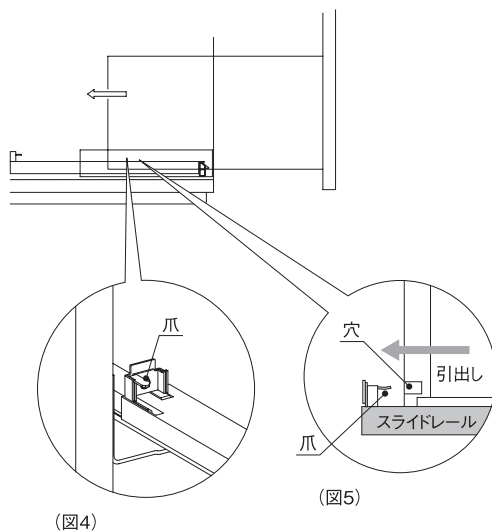
(図2)



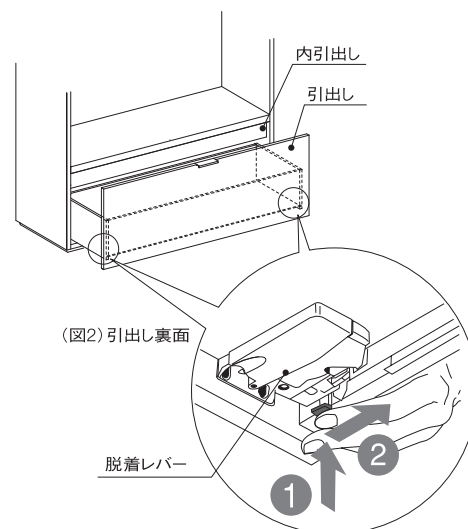
3. そのままレールに沿って引出しを押し込みます。(図3)

その際、引出し後部の穴にレールの爪(図4)を差し込みます。(図5)

(図3)



(3) 引出しの調整



1. 引出し裏のレバーを図のように動かすと、引出し前板の高さを調整することができます。

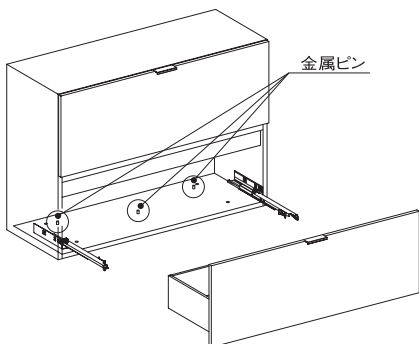
引出しの傾きを見ながら、左右それぞれ調整してください。

4. 引出しの左右でカチッとロック音がするのを確認して完了です。

ウェイト(おもり)の設置 (引出し2段付きのセレクトブルボックスのみ)

1. 最下段の引出しを外します。
(p.16[引出しの取り外し・取り付け・調整]参照)
2. ボックスの底板を確認してください。(図1)のように、金属ピンが刺さっています。
このピンの間にウェイトを置きます。

(図1)

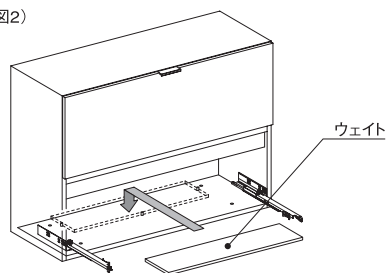


- 3.ピンの間にスライドしながらウェイトを置いてください。
奥のバックパネルまで押し込んでください。(図2)

警告

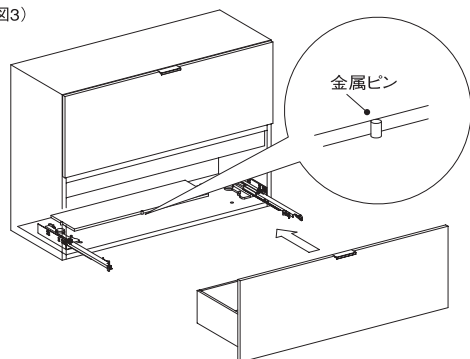
- ウェイトは重量がありますので、落としたり、ぶついたり、指を挟まないようにご注意ください。

(図2)



- 4.(図3)のようにピンの中に置いて完了です。

(図3)



Memo

ご使用にあたって

本製品をお使いいただく前にお手元のアルフレックス製品ユーザーズガイドをお読みください。

ユーザーズガイドをお持ちでない場合や、ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

ドロワー（引出し）について

△警告 同時に複数の引出しを引き出さないで下さい。(内引出しを除く) 収納物の重さで製品が転倒し、けがや破損の原因になることがあります。

ハイファイボードご使用上の注意

△注意 AV機器によっては、高温（40℃以上）を発生させる機種がありますので、当社製品に収納してお使いになる際は、それぞれの取扱説明書に従って正しくお使いください。
高温によって、AV機器の故障や製品の反りや歪み・割れの原因となることがあります。

フラップドアについて

△注意 フラップドアは、既に調整がされており、そのままご使用いただけますが、不具合を発見された場合は、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

株式会社 アルフレックス ジャパン

カスタマーサービス ☎0120-33-1951

April 2010

C.C.09 Hi-Fi BOARD INSTRUCTIONS

シー・シー・09 組み立て説明書

arflex

CONTENTS

シー・シー・09 ハイファイボード

組み立て説明書 目次

組み立て前にご確認ください	p. 1
水平の取り方(アジャスター調整)	p. 3
ドアの調整と取り外し・取り付け	p. 4
引出しの取り外し・取り付け・調整	p. 8
棚板の取り外し・取り付け・位置変更	p.11
配線用バックパネル・スリットについて	p.12

組み立て前にご確認ください

△注意

製品にキズをつける恐れがありますので、必ず腕時計や指輪等は外して作業を行ってください。

必ず下記の付属工具とパーツがそろっているか、確認してください。

(1) 付属工具の確認



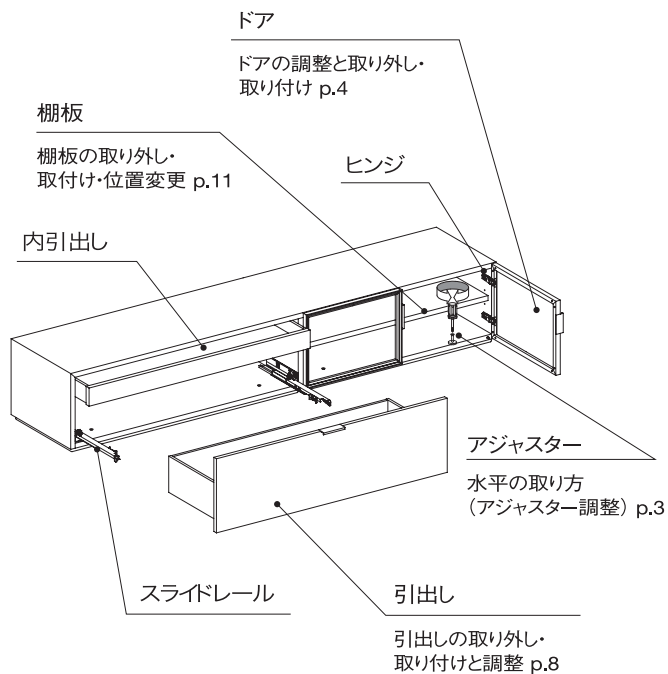
● プラスドライバー
(1セットにつき1本)

(2) 付属パーツの確認

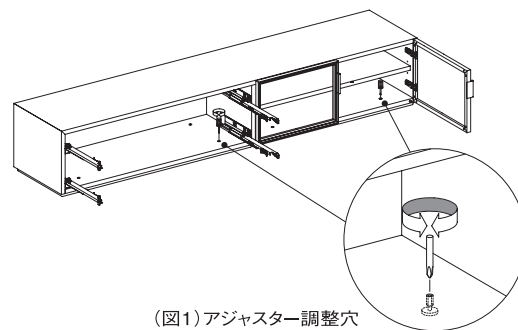


● アジャスター穴キャップ

(3) 各部の名称

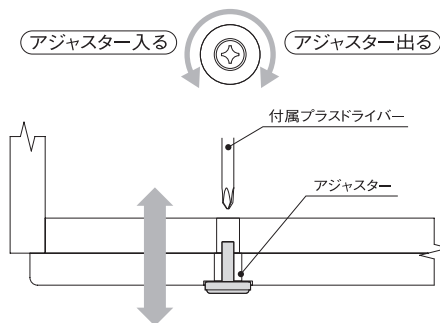


水平の取り方 (アジャスター調整)



1. ボックスのアジャスターを全ていっぱいまで引き込みます。
(付属プラスドライバーで反時計まわり)
2. 床とボックスとのすきまを確認します。
3. アジャスターを出して、水平調整をします。

アジャスター調整穴



4. ボックスが一番傾いている場所のアジャスターから順番にアジャスターをまわして、調整をしてください。
5. すべての脚(アジャスター)が接地していることを確認します。
6. 最後にアジャスター穴キャップをセットして完了です。



アジャスター穴キャップ

⚠ 注意

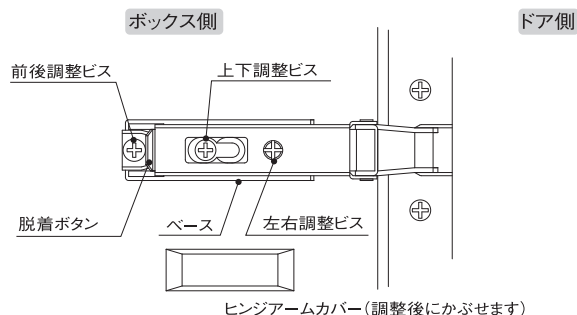
- 引出しボックスの場合は、引出しを取り外してから行ってください。
(p.8 [引出しの取り外し・取付け・調整] 参照)
- 接地面が、毛足の長いカーペット等の場合は、重量によりアジャスターが沈み込みますので、アジャスターは多めに出して調整してください。
- 床の凹凸がはげしいときは、水平器を使用してください。
- アジャスターを出し過ぎると、ボックスから外れてしまいますのでご注意ください。

ドアの調整と取り外し・取り付け

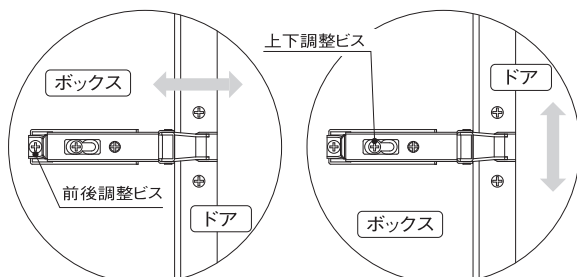
△注意

- 水平調整ができていない場合ボックスがねじれて、正しくドアの調整ができません。(p.3[水平の取り方(アジャスター調整)]参照)
- ドアのねじれ、反りにつながりますので、ドアのヒンジ調整は确实に行ってください。

(1) ヒンジ

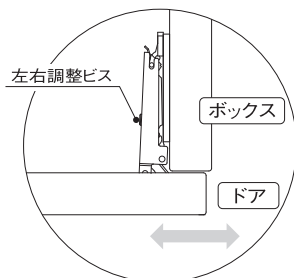


(2) ヒンジの機能



●ドアが前後します。

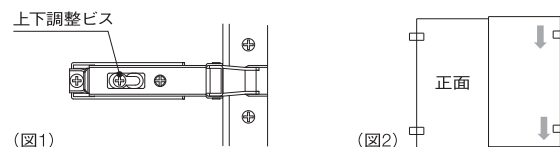
●ドアが上下します。



●ドアが左右に動きます。

(3) ヒンジ調整例

〈ドアの上下がずれている場合〉

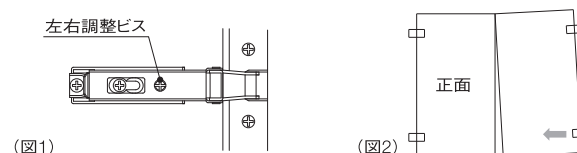


1. 上がってしまっているドアのヒンジを確認してください。
2. ヒンジの上下調整ビス(図1)を回します。
3. ビスを回すとドアを上げ下げすることができます。

※ヒンジが片側2つ以上ある場合は、上下のどちらかから、平均に少しずつ調整ネジを回してください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

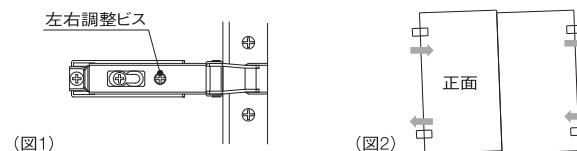
〈ドアが傾いている場合〉



1. 傾いてしまっているドアのヒンジを確認してください。
2. 左右調整ビス(図1)を回しての矢印の方向にドアを調整します。(図2)
3. 再度全体を確認して、必要であれば上のヒンジも同じように調整してください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

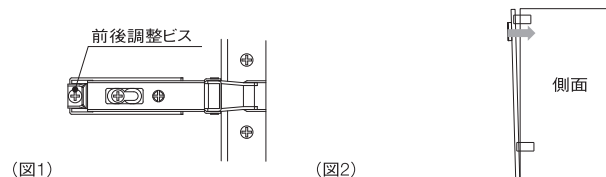
〈両方のドアが傾いている場合〉



1. 左側ドアヒンジの左右調整ビス(図1)を回し、(図2)の矢印の方向に調整します。
2. 右側のドアも、左のドアを基準に上下のヒンジを調整してください。
3. 両ドアの調整後、全体を確認し、中心にすぎ間が大きく開いてしまった場合、再度左右調整ビスで、ドアを均等に中心に向けて調整してください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

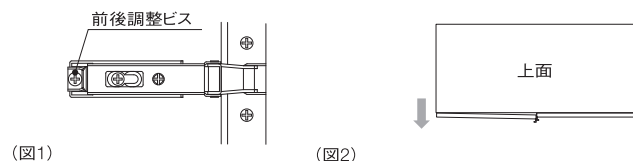
〈ドアが前に飛び出している場合〉



1. ヒンジの前後調整ビス(図1)を回し、ドアを(図2)の矢印の方向へ押し込んでください。
2. 最適な位置で前後調整ビスを確実に締め込んでください。
(ボックスとドアのすき間は、1~2mmくらいが最適です。)
3. 位置決め後、再度全体をチェックして、必要であれば、下のヒンジについても同じ調整を行ってください。

※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

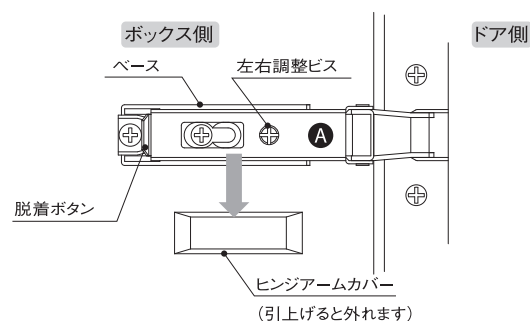
〈ドアがきっちり閉まらない場合〉



- ヒンジの前後調整ビス(図1)をゆるめ、ドア側面をみて、ボックスとドアのすき間を調整します。

(4) ドアの取り外し

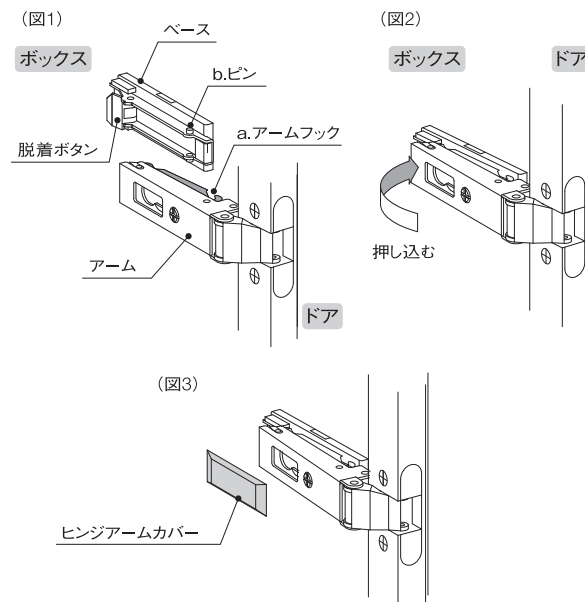
●ドアはヒンジごと取り外します。



1. ヒンジアームカバーを外します。
2. ドアを支え、脱着ボタンを押しながら図(A)部分を押し込むと、ヒンジのロックが外れ、ヒンジがベースから外れます。

※うまく外せない場合は、左右調整ビスをいっぱいまで閉め込んでから再度脱着ボタンを押してください。

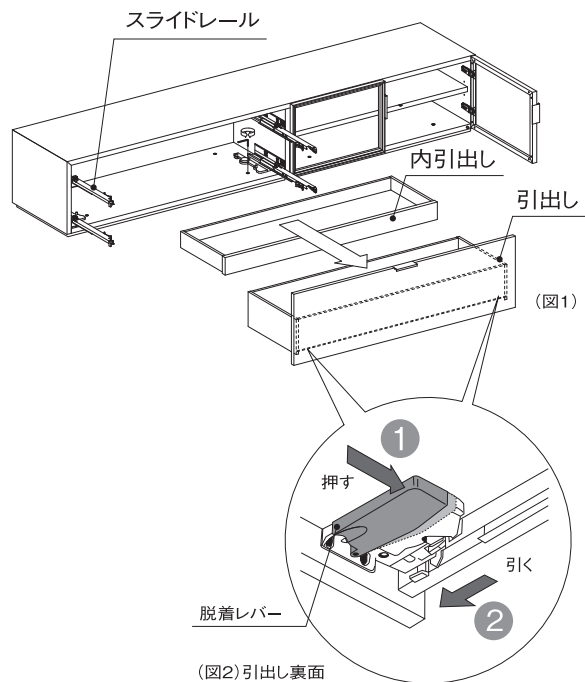
(5) ドアの取り付け



1. アームのフックaをベースのピンbにかけます。(図1)
2. アームの端をカチッと音がするまで押し込みます。(図2)
3. 取り付け後、ドアの調整を行ってください。
(p.4 [ドアの調整と取り外し・取り付け] 参照)
4. 最後にアームカバーを取り付けます。(図3)

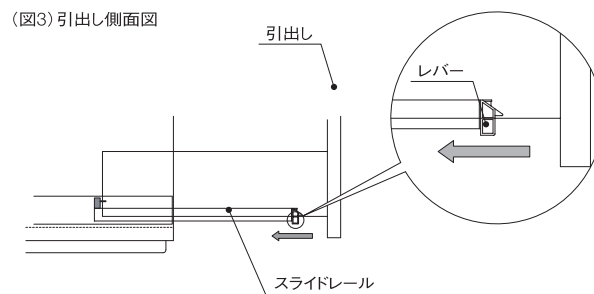
引出しの取り外し・取り付け・調整

(1) 引出しの取り外し

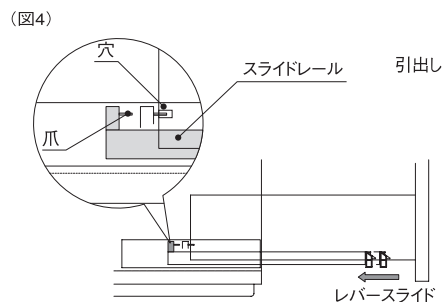


1. 引出しの中身を出してください。
2. 引出しを手前いっぱいまで引き出します。(図1)
3. 引出しをささえながら、指先で引出し裏面オレンジ色の脱着レバーを握るとスライドレールと引出しのロックが外れます。(図2)

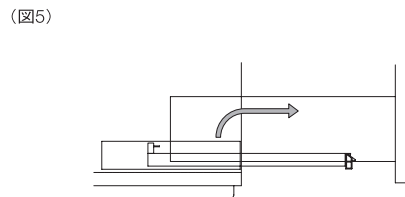
4. 引出し裏面の脱着レバーを握ったまま、図の位置にある白いレバーを矢印の方向にスライドさせます。(図3)



5. レバーを引くことで(図4)のように、引出し奥の爪が引出しから外れ、レールから引出しが外れます。
同じように引出し左右2ヵ所ロックを外してください。



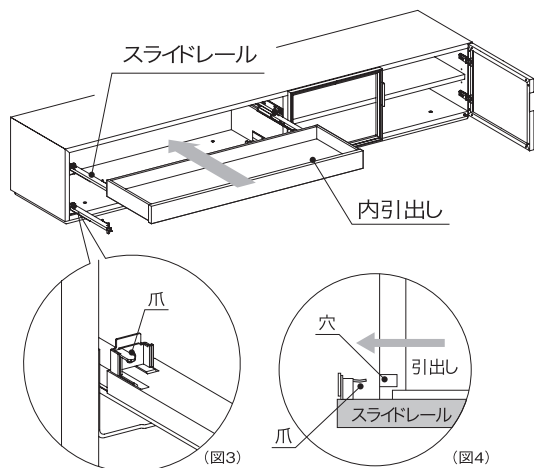
6. スライドレールと引出しのロックが外れましたら、矢印のように引出しを持ち上げながら引き抜きます。(図5)



⚠警告

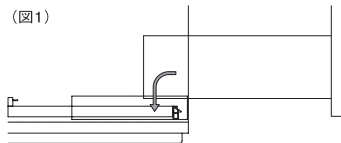
- 危険ですので引出しにものを入れたまま、引出しの取り外しをしないでください。落下して、けがの原因となります。

(2) 引出しの取り付け



1. 引出しの取り外しと逆の手順でレールに引出しをのせます。(図1)

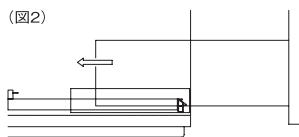
(図1)



2. そのままレールに沿って引出しを押し込みます。(図2)

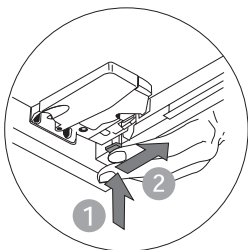
その際、引出し後部の穴にレールの爪(図3)を差し込みます。(図4)

(図2)



3. 引出しの左右でカチッとロック音がするのを確認して完了です。

(3) 引出しの調整



●引出し裏のレバーを図のように動かすと、引出し前板の高さを調整することができます。

棚板の取り外し・取り付け・位置変更

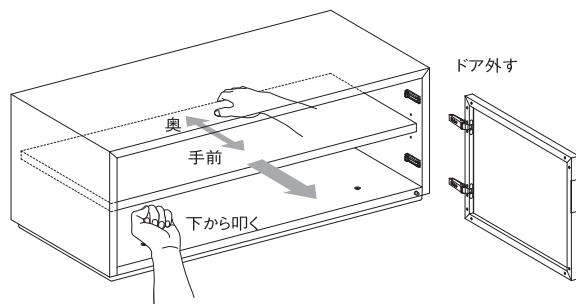
△注意

●ドアが付いている場合は、ドアにキズをつけてしまう事もあるため、予めドアを外しておきます。(p.4 [ドアの調整と取り外し・取り付け] 参照)

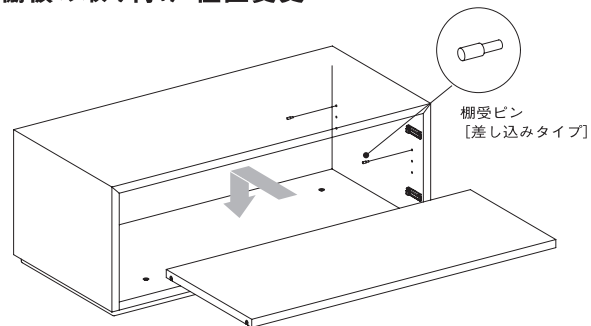
(1) 棚板の取り外し

棚板は、裏面の四隅についているジョイント部で固定されています。このジョイント部付近を下から叩くと固定を解除できます。

1. まず棚板奥側の左右2か所にあるジョイント部を1か所ずつ解除します。
このとき棚板が跳ね上がらないよう、もう一方の手で棚板の奥側を支え、再び固定されないように、そのまま奥側を軽く持ち上げておきます。
2. 次に手前側の左右2か所のジョイント部も1か所ずつ解除します。
3. 全てのジョイント部を解除したら、棚板を傾けないよう注意しながら垂直に持ち上げ、手前に引き抜いて完了です。



(1) 棚板の取り付け・位置変更



1. 棚板を取り付けたい高さの下穴に、棚受ピン[差し込みタイプ]を差し込みます。
2. 棚受ピンとジョイント部がかみ合うように、棚板を棚受ピンの上から図のように落とし込みます。
3. 棚板の四隅で“カチッ”という手ごたえがあるまで上から押して完了です。

配線用バックパネル・スリットについて

(1) 配線用バックパネルの取り外し

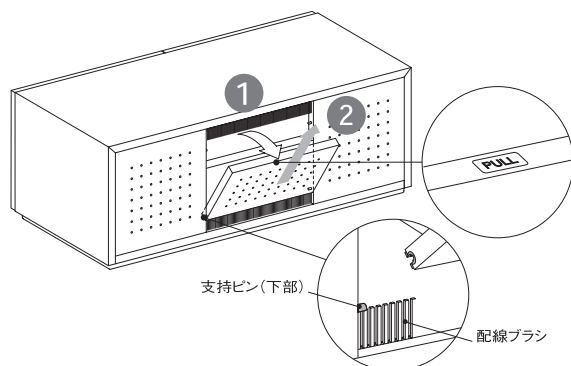
ハイファイボードガラスドアタイプは、ボックス内の機器類とテレビなどの配線を接続するためバックパネルの一部が開閉し取り外すことができます。

1. 配線用バックパネルの上部配線用スリットに手をかけて手前に引きます。
2. 上部のロックを外したら、バックパネルの下を持ちそのまま左右平行に上方向へ引き下部支持ピンから、バックパネルを外します。

※ 必ず両手で作業してください。

※ 配線用バックパネルには上下があります。

上部には納品時「PULL」ステッカーが貼ってあります。



(2) 配線用バックパネルの取り付け

1. 取り外しと逆の手順で、配線用バックパネルの取り付けを行います。

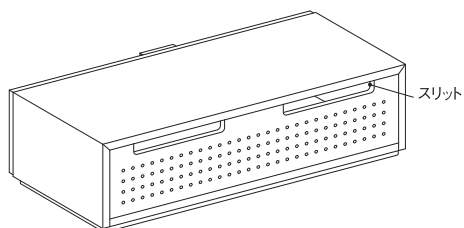
※ 配線用バックパネルを両手で持って作業してください。

⚠ 注意

- 配線用バックパネルを左右平行でないまま無理に引き上げたりするとロック部分やバックパネルを破損する恐れがあります。

(3) 配線用スリット

ハイファイボードガラスフラップドアタイプは、ボックス内の機器類とテレビなどの配線を接続するためバックパネルにスリットが開いています。



Memo